

令和5年度

# 南ヶ丘小だより

Newsletter from Minamigaoka

校訓 心をみがき 体をきたえ 夢を大きく

学校教育目標 郷土に誇りを持ち 未来を拓く

心豊かな子どもの育成 (合志中校区共通目標)

令和5年12月20日 第16号 文責 澤田

一日一日を大切に過ごした8ヶ月でした。子どもも大人も確実にじっくり成長しています。

覚えていますか？コロナウイルス感染防止対策が緩和されたのは5月でした。それから運動会があり、引き渡し訓練を行い、以前の学校行事に近い形で、子どもの様子を保護者の皆様に見ていただくことができるようになりました。少しずつゆっくりと友だちの作り方を身に付けていった子どもたち。口より先に手が出てしまい、相手を泣かしてしまったことがあれば、担任は、手が出てしまった子どもに友だちの作り方が間違っていることを諭し、「ごめんなさい」という言葉を使えば、友だちができることを教えました。また、「やめて」の一言がいつづらくて、教室にいるのが苦しいと感じている子どももいました。友だちの上下はないのだから、いやなときは「いや」と言っていることを教えました。言われた友だちには、自分の行動で相手を困らせていることがあるのだと気づかせました。このような指導は、粘り強く繰り返し指導することで定着していきます。おかげで、学級や学年で行事をするごとに友だちとのつながりが強く確かなものになってきました。

職員は、4月から南ヶ丘小のメンバーとして、お互い知り合いになりながら仕事をしてきました。誰かが出勤できないときは、他の誰かがカバーし、子どもたちの学びの保障に務めました。教科担任制を取り入れたことで、隣の学級の子どものこともたくさん知ることができましたし、学年としてのまとまりを持たせることもできるようになりました。

保護者からは、「うちの子が〇〇と言っているんだけど」というご連絡を受けて、子どもに話を聞いたり保護者にご報告したりして、子どもの思いを知ると同時に今後を見据えてどう育てていけばいいのか、いっしょに話し合う機会が持っています。子どもの今の思いを受け入れつつ、自分を客観視できるようにしたり思考の幅を広げたりすることで、気持ちと行動が一致し成長できているように感じています。

地域の方からの声も大事にしてきました。見守り隊の皆さんからの声はとてありがたご意見ばかりでしたが、今年前半は、子どもの登下校の様子で学校に苦情の電話が多くありました。横断歩道の渡り方や歩道いっぱい広がっていること、あいさつができていないなど、さまざまでした。また、体育館裏側の路上駐車について「いいかげんにしろ」とお叱りの電話も複数回ありました。保護者への連絡徹底が十分でなかったのだろうと考えています。

おしなべて振り返ってみますと、子どもも保護者も地域も、私たち教職員も決して手を緩めることなく日々努力してきたことに間違いはないと思います。一日を大切にしつつ、ゆっくりでも確実に進歩してきたのだと、私は考えています。それはみなさんのおかげです。お一人お一人に感謝します。本当にありがとうございました。二週間の休みを終えたら、再スタートです。来年もどうぞよろしく願います。



お知らせ

## 1月の行事

- 8日(月)成人の日
- 9日(火)後期後半開始  
(給食あり)
- 15日(月)委員会
- 17日(水)避難訓練

- 22日(月)クラブ活動、薬物乱用  
防止教室(5年生)
- 25日(木)新入生体験入学
- 26日(金)児童集会、教科等研究会  
(午後下校 給食あり)
- 29日(月)クラブ活動

- 12月23日(土)12月市民講座  
「恐竜から学ぶ地球の過去と未来」  
御代志市民センター講堂  
10:15~12:00  
御船町恐竜博物館  
池上直樹さんのお話 参加無料ですよ。

